



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告

2025年11月23日
No. 387

公式ライン
アカウント



安藤たい作
ニュース

バックナンバー 品川 安藤たい作ニュース 検索

事務所 西品川 3-1 6-3 Tel/FAX 3491-3230



漫画：安藤たい作

「いいものはいい 悪いものは悪い」中身で
評価 ぐまだ賛成することに慣れてない」

予算「区政の姿勢が転換したとは言えない」と反対から一転 2024年度品川区一般会計決算に賛成

10月の決算委員会で、共産党は令和6(2024)年度の品川区一般会計の決算に賛成。当時予算には反対としていました。が、予算執行後の区政の大きな変化・前進を評価したものです。

今回決算認定した予算の審議で共産党は当時、小・中学校の学用品無償化、介護や障害者福祉従事者の待遇改善など、住民運動と結んだ共産党の議会論戦で繰り返し求めてきたものが多数盛り込まれたことを大きく評価。一方で、区立保育園の削減・統廃合方針検討の具体化や、23区で唯一、地域包括支援センターを地域に設置せず、サービス抑制してきたこと、また住民追い出しの超高層再開発にまちづくり検討や補助金など68億円余の関連予算を計上など、「23区最低の福祉の改善に向け、区政の姿勢が転換したとは言えない」として予算に反対していました。

議会では、共産党の質問に地域包括支援センターについて「地域への設置を検討する」と答弁がされました。約10年間で共産党が求め続けてきたものが前進した瞬間でした。予算反対の最大の理由の一つである、包括センターを地域に設置せず、専門職を配置せずに23区最低の介護サービス量に抑制してきたことの改善が示されたため、23区最低の福祉の姿勢を大きく転換するものとして評価しました。

同様の問題で東京都は「必要な財源を安定的、継続的に確保することを国に求めている」と都議会でも答弁、開発を進める姿勢を示したことと比べても対照的です。

ジェンダー平等 条例を制定し前進

昨年4月に全国で2番目となる「ジェンダー平等推進条例」が施行。昨年11月の共産党の一般質問で選択的夫婦別姓の実現について問われた区長は「私としては早期に実現すべきもの」と答弁。濱野区政では何度質問しても「国で議論されるもの」との答弁が、初めて前向きな答弁へと変わりました。共産党が求めてきたユースクリニクの設置では、補正予算が組まれ「ユースヘルスケアしながらほけんしつ」が開設。子どもや若者の性や心の悩み相談として利用が広がっています。

再開発 「まちづくりの主体は地域住民」

昨年、区長は再開発に反対する区民と初めて直接懇談を行い、議会で「まちづくりの主体は地域住民」と答弁しました。

今年度から国は、再開発への補助金対象地域を絞り込む要綱改正を行いました。このことについて、対象外になった地域を区が新たに区域指定を行わないよう共産党が求めたことに対し、区は「考えていない」、区独自に補助金投入もしないことも答弁しました。

福祉 抑制の姿勢が転換

そもそも前述のように当初予算で示された様々な前進を共産党は大きく評価してきましたが、それに加え、昨年9月

今年も、NPO法人ピルコン

による区民向けの包括的性教育や養護教諭への研修が実施されるなど前進しています。

裏面へ

当ニュースへのご意見・ご感想をお寄せください

区議控室 Tel 5742-6818/FAX 3778-3088
taisakuando19740217@gmail.com

* 当ニュースは、議会活動および区政に関する政策等の広報活動に要する経費等をまかなう「政務活動費」で発行されています

【保育】統廃合姿勢に変化

区立保育園の「統廃合を含めた整備を図る」とした保育園のあり方基本方針の撤回を求めてきましたが、子どもの人口予測が微増との予測に変わり、基本方針の前提が崩れ、結果統廃合は「慎重に検討」と区の姿勢が変わりました。

【教育】無償化へ前進

「義務教育は無償」との憲法26条に基づき、区立小中学校の学用品無償化が当初予算で実現したのに続き、昨年、共産党の修学旅行費・制服代の無償化や給付型奨学金実施の求めに対して区は「検討したい」と答弁。今年の実現へつながりました。区長は「教育は本来、国の責任において全国一律に無償で行われるべきもの。先駆的な施策で一石を投じていく」と発言していますが、重要です。

【羽田新ルート】海上ルートを国に要望

昨年2年ぶりに開催された第6回固定化回避検討会の結論を受け、区長は「看過できない」と発言。さらに今年に入り大臣に海上ルートを要請。これは「必ずしも国が示すルートに限定せず、海から離着陸するルート」であること、事実上

元の海上ルートに戻すことも含まれていることが共産党の質問で明らかに。区民要望とも一致し大きく評価しました。

【平和】城南空襲を語り継ぐ、核禁条約推進

決算委等で城南空襲の碑の建立を求めたのに対し、要望する住民と懇談し、区の平和施策とリンクするよう検討すると答弁。また、区長は今年、被爆80年の広島・長崎の平和記念式典に参加。共産党の質問に、核抑止論ではなく核兵器禁止条約を推進する立場を表明。大きな変化であり評価しました。

いま、品川区政は「希望」

国政では高市新内閣が発足し、裏金問題にはフタをする一方、民主主義を壊す議員定数の削減、更なる軍事費拡大、憲法改悪を狙い、物価高には無策。差別・デマをあおるなど、不安が広がっています。

一方品川では、自己責任の社会からの転換や社会保障は権利とし無償化、差別や分断ではなく包摂する社会へ、全ての人々が自分らしく暮らせる社会に向け、具体化が前進。混乱する国政のもとで、いま品川区政は希望を示すものです。

【第四回定例議会・安藤たい作（共産）の一般質問がケーブルテレビ品川の品川区民チャンネル（11ch）で放送されます】

1. 深刻な物価高から区民の暮らしを守るため消費税減税を 保険料引き下げや家賃助成など区としてできる対策を
2. 暮らしも平和も壊す大軍拡ではなく、憲法9条を生かした平和外交の道を地方自治体から求めよ
3. リニア新幹線工事の真上で起こった区道の隆起は重大事態 区も責任をもって原因究明を
4. 現庁舎跡地は200億円捻出にこだわらず、区の主導で高齢者・障害者施設や区営住宅など区民ニーズに応えた施設整備を
5. マンション再生を目的にした大崎西口駅前地区再開発は、企業の儲けのためではなく住民本位で見直しを

①11月25日(火)21:00～21:45
②11月29日(土)20:00～20:45



※ケーブルテレビ放送以外にも本会議の全日程をホームページで録画中継しています。本会議は終了後おおむね一週間で配信します。
←「インターネット中継」からご覧ください。



日本共産党品川区議団

第三火曜18:30～20:30は弁護士を迎えての**無料法律相談会**
12月は**12/16（火）**

【会場】安藤たい作事務所（西品川3-16-3・右地図）

【主催】共産党品川地区委員会

* 予約制（5742-6818（控室）または3491-3230（事務所））

お困り事がありましたら、上記日程に関わらず
お気軽にご相談下さい。



安藤 たい作（あんどう たいさく）プロフィール

1974年宮城県仙台市生まれ。宮城教育大学に在学中に共産党に入党。漫画家を志し98年上京。ハケンで働きながら02年コミック誌奨励賞受賞。06年～品川区議会議員。5期目。文教委員・区民委員等を経て現在建設委員。党区議団幹事長。家族・妻、二女。好きなもの：麺類、少年ジャンプ、ファミコン。

